明治三十七年五月七日第三種郵便物認可
明治四十年五月十四日發行

明治の女子

第四卷第四號目次

評論

弱者の友イエス……山室軍平
東洋的意識が神的王國の建設に對してなすべき貢献……ホール博士

文藝

會見……西本翠陰
藻の花……江孤雁
こんな夫婦……白鳥冷泉

雜纂

世界の女子教育……ラッス嬢
小說『聖書』の梗概……記者

雜報

明治の女子

「明治の女子」は日本基督教女子青年會中央委員が發行する機關雜誌也、
「明治の女子」は一年分郵税共金五拾錢一部郵税共金五錢とす
日本基督教女子青年會はなすべき青年女子の衛生、社交、智識、靈性上の發達を計るために設けたる機關也
日本基督教女子青年會中央委員左の如し

委員長　エム、エ、ホイットマン
副委員長　岡見恵子
記録書記　エ、ジー、ル、イス
萬國基督教女子青年會同盟委員　河井直子
會計　サラ、エ、リス

明治の女子
編輯　松田道子
幹事　エ、シ、マクドーナルド
同　エス、シ、フイッシャー

東京在住委員
津田梅子
渡部勅子
エ、ピー、ウエスト
井上友子
宮川壽美子
ジ、エム、フイッシャー
平野濱子

地方在住委員
大坂　ケー、ツリスツラム
岡　エル、ハミルトン
神戸　ピー、ヘルム
京都　ジ、エス、フエルプス
仙臺　エル、ザフルー
名古屋　イ、エム、ソーバル
弘前　エヌ、ジー、ケイン
函館　エム、ブラオンロ

明治四十年四月十三日印刷
明治四十年四月十五日發行

東京市麹町區土手三番町十五番地
發行兼編輯人　エー、シー、マクドナルド
東京市淺草區花川戸町四十番地
印刷人　手塚圖太郎
東京市淺草區花川戸町四十番地
印刷所　花川戸活版所

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治の女子　第四巻第四號　明治四十年四月十五日發行

評論

弱者の友イエス

山室軍平

左に掲ぐる所は山室軍平氏が早稻田大學講堂に於て、開かれたる基督敎青年會の席上に於てなされたる演說の大要なり。人も知る如く山室氏の說敎は青年男女に取て多大の信仰を起さしむるの力あり。「弱者の友イエス」が女子諸君に敎ふる所少なからざるべきを信じ山室氏に請ひ玆に採錄せり。速記者の手を煩はさず只覺ゆるが儘を書き流せるものなれば演說の力を殺げる所多かるべし。之れ記者が偏に山室氏及び讀者の許しを請ふ所也。

今晩かくまで澤山の人々の前に立つことは私に取て非常の欣びであります、殊に貴君等の如き敎育のある方々の前で而も海老名先生の後をうけまして御話しをすると云ふことは誠に身に餘る欣びであるのでありますが其と同時に甚だ恐縮する次第であります。

此所へ出まして海老名先生の御話を聞いて居りまする時に不圖思ひ出しましたことがあります、（海老名氏は此等多くの人々と共に日本の形式的知力的の文明に反對して精神的宗敎的の新潮流を起したることに就て談られたのである）。丁度十八年計り前に綱島先生が東京に學問に出掛けると言つて出鄉の御計畫を立てゝ居られる時分に、不圖或所で會合致したことがありました先生は當時スウヰントンの萬國史か何かを自力で勉强し盡して居られました其が先生今日の準備なのでありまして自分は妙な心に大に感じました。自分も丁度其二年前に基督を信じまして色々言ふに足らないことをして居りました、自分は先之或工場に使はれて

務めをしてゐりましたが其工場に外に二百人餘の人が使はれて居りました。所が其二百人の人々が皆揃ひも揃つて不品行な不規律な不潔な生活をしてゐることに氣が付きましても少し意味のある暮しを立てゝ行きたいと云ふ願が起りまして遂に基督を信じました、二百人の内に只一人教會へ行くものがありましたけれども其は道の案内を得るためではなくて餘り善くない動機に依て行つてゐると云ふことを發見しまして失望しました。何しろこれが私が基督を信じた初めで私は其から基督の教を極平易な方法に依て説明して私の仲間さては多くの人々に基督の道をのべ傳へんとしました。これが私の最初の決心でありました、これから私は最も善く神が私を使つて一生を無駄に費さない樣に祈りを捧げまして晝の間仕事場に働いた後夕食が濟んでから後は毎晩路傍演説を初めました。色々の妨げがあつても雨の夜でも河の土手に立つてやつて居りました。丁度一月之を續けました、然るに驚くべし其三十日の間に只一人の信者を作つたのみであります、それは女の人で十八年の久しき今日に至るまで矢張り固く基督を信じ神を信じて居ります、斯樣な次第で基督の教を極めて平易に譯の分らぬ人々に説き明しすると云ふのが自分の初めの考へで今も其ことをやつて居ります。斯樣な次第でありますから高尚な六ヶ敷學問上の議論を諸君の前に申上げることは出來ません、矢張り前同樣な心掛けで「弱者の友イエス」と云ふことに就て少しく御話し致す考へであります。

自分が兼て愛して居る言に人間はPOORな時PUREだと云ふのがあります、基督は常に貧乏人や弱きものを愛して之を助けて居られました、聖書の中に或る時ペテロ等が祈りのために殿堂に入らんとして門を過らんとする時一人の生れ付きの跛足が彼等に施しを求めたことがある其時ペテロが申しまするに金銀は我になし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たゞ我にある物を汝に與ふ、ナザレのイエス、キリストの名に依て立つて歩めと申したことがあります、又名は忘れましたけれどもローマの或法王は金銀の貨幣を列べて其晃々と光るのを見まして、金銀よ、汝等は多く求めらるれどキリストのために人のために立つて自分の身を獻げるものはないと歎息したと申しますてこれ等はイエス、キリストの御心を能く顯はして居ると考へます、元來宗敎は甚だ宏いものでありまして色々惡風に陷り易い弱點を多く持つて居ますと同時に色々の方面から眞に其生命に入ることが出來る樣であります時代が次第にたちますにつれて色々の惡風僞善に陷ります、又併し其より救ふ道も色々開けて來ます、それを救ふには二つの方法かあると思ひます、即ち一は神を信ずることで他の一は貧乏人に目をつけることであります、弱者に目を付けることであります、又之かキリストの御心であります、然らば弱者とは何か色々六ヶ敷區別がありませうけれど今之を強者と比較しますと、男女の性の上から言いますと女は男よりも弱者であり年の上から申しますと年少者は年の多い人よりも弱者であり、富の上から申しますと、貧乏人は金滿家より弱きものであります、健康上より言へば身体の弱い人は強い人に比較して弱者であり、學問の上より申しますと無學なものは學問のあるものよりも弱者であると言ふことが出來ると思ひます、

我々は此弱き者に對して心得違ひをすることが有升處が如何なる人の心の中にも神に像られて作られたものが宿つて居りまして如何に見すぼらしき中にも如何に罪の中に染まつて居つても磨けば光ると云ふ御心を持つて居られた樣に思はれます、聖書の中にも此小子の一人を躓かする者があつたら石を首に掛けて海の深きに沈ます方がましだと云つて居られます又迷へる者を救はんがために我來れりと云はれて居る即ち世界

の宮を得るも靈魂を失はゞ何の益もないと云ふ程大切な靈が我々人間の皆の心の中に存在して居ることは誠に有難きことであります、これは我々か弱者に對して取るべき第一の心掛けてありますす聖書にはくわしく載せられて居らぬけれども茲に一つの話がある、其は或ユダヤの町の何處かに一つの滞渠かあつて其中に犬の死骸が横はつて居る多の人々は其泥の中に塗れたる犬の死体を引出して穢ないとか臭いとか色々評判をして居りまする、誠に頭はくずれ肉はたゞれ毛はぬけ見る影もなくなつてをり升た、人々は此淺間敷有様を見て愈々のゝしり騒いでをり升た、然るに群集の内よりすずしき美しき聲で「然れどもあの歯の白くて美しきを見よ」と言つたものがあつた、多くの人々は此言に驚いて彼はナザレのイエスではないかと言い合つたと云ふ話がある、イエスは如何なる罪の中にも如何に貧乏の中にも如何に穢ない中にも磨けば必ず光る貴の石にも例ふべきものが心の中に宿つてれることを見て居られた、

基督の弱き者に對する愛情の深かりしことは實に一通りではなかつた、骨肉にもまさる程の情愛があつたのであり升、イエスが罪人と共に食事せられし時にパリサイの人々がイエスが罪人と食事せられたと云ふので大變に非難しました、イエスが其非難に答へなされまして（爾曹のうち誰か一百の羊あらんに若し其一つを失はゞ九十九を野にれき往て其失いし羊を獲るまでは尋ねざらん乎、尋ね得ば喜びて之れを己れの肩に負ひ家に歸りて其友と其隣りの人々を召集めて言はん、我と共に喜べ我は失へる羊を獲たり）と申されました、基督の愛情はまだ中々之に盡きません、基督が十字架に掛けられて鮮血淋漓たる中から自分を釘づける者共に對して神に祈つて（父よ彼等の罪を赦し給へ、彼等は其爲す處を知らざればなり）と仰せられた、實に世

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の多くの罪人の爲めに同情せられたことは想像に餘る程であります、又私共から考へて見ましても甚だ最ものごとであると思ひます、今日罪を犯して居る多くの弱者を審べて見ますと多くは大に許し且つ同情しなければならぬものがあると思ひます、私は自分の職掌柄として嘗て或監獄の女の罪人のことに就て審べて見ました處次の様なことがあるのを見ました、或監獄の人が試に女囚を集めて女の帶を結ばした處本當に帶の結び方を知つてれるものは十人の内八人であつたと云ふことである、東西も分らぬ頃から三味線を抱へさせられてベチでたゝきつけられて浮氣なことより外何の敎育も受けないものに何で堅氣な生活が送られませう、罪を犯さぬと云ふのが不思議であり升今述べました有名な路加傳十五章の終りの放蕩息子の譬へに依て見るも基督が如何に世の多くの弱きもの罪を犯せるものゝ上に同情を寄せて居られたかゞ偲ばれるのであります、

神の御目の前には外から見ゆる多くの汚れ弱味よりも精神の方が遙かに罪が深い様に思はれる事であらうと思はれるのであり升、基督の愛は人々の心の汚れから躰の欠点に及んで餘す處ないのであり升

先づ第一に肉の上からの基督の救ひを申し上げまするならば、茲に今飢ゑて死なんとして居るものがある、其人に向つて一小冊子を與へて神の救ひは茲にありなど云つたつてそんな暢氣なことで人か救へるものでない、基督の救ひは肉体上に及んでゐる、奇跡の如きも基督か見るに見兼ねてなされたのである、奇跡に依れる基督の肉体上の救ひは決して御自分にゑらい働きがあると云ふことを人に證しするためにせられたとは思はれない、今の宗敎は大變に理屈など八ケ數なりまして貧乏人や病になやめるものの救ひとしては實に縁が遠くなりてゐります、そして敎會の門は高くなりまして宗敎は全く寺院の中に閉ち込められて貧乏人には

寄り付けないのであります、人が今に死ぬか生きるかと云ふ短兵急な場合に迴り遠い手緩い說敎位で其人が救はれるものではない、其でありますから救世軍などても色々手段を盡して此方面に力を注いて居るのであります、近頃ロンドンからの報告に依りまするこ救世軍の内には自殺救護會と云ふものが出來まして、毎日毎夜自殺の行はれさうな處に救世軍の士官兵士が出張して自殺を止めさせると云ふのであります、其外に救世軍ではエキスプレスどいふ新聞を利用しまして其に廣告をしまして自殺せんとするものは先づ其前に救世軍に行つて相談する樣な仕組にしてあるのであります昨年の統計に依りまするど此方法に依つて救はれたものが四萬八千人と云ふ實に驚くべき多數に達したと云ふのであります、生存競爭などの激しい處でありますから生活上色々の苦痛も多くやけになりて自殺を企てるものなど甚だ多いのでありますから斯樣な設備が大

層必要とあり升、昨年は失敗に失敗を重ね貧乏になつてヤケになりてエッどうせ斯なあぢきなき世の中に生きてゐるより伝死んで極樂にでも行つた方がましだと考へて決心の覺悟をしました、併し死ぬにすれば茲にある金で鱈腹食つて食欲でも滿足せしめて死んだ方が得策だと考へて或飲食店に出掛けて往つた、其邊に行きますと卓上にエキスプレスと云ふ新聞がありまして不圖救世軍の自殺志望者保護の廣告に目を付けこいつは面白い、死ぬにしても半日や一日遲く死んだつて損はない、先づ其處へ相談をして見やうと云ふので遺言狀に貼つてあつた切手（どうせ一文なし故切手一枚だけ買つてれつたのである）をはがして救世軍に自殺志願の申來を述べて救はれたと云ふ話かあり升であるから私共の近傍に若し貧乏で困るとか病氣で困るとか云ふ人があつたならば聖書を敎ゆるも宜しい說敎をして聞かするも宜しい併しそれと仝時に肉体の糧を與へ身

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

体の上に於て充分の力を與へて遣る事が大變必要であります。

第二にイエスキリストは靈の救濟を重んじ弱者をして立たしめ給ふたのであり升靈に於て生くる者は只單に靈性上に於て慰安を得る計りでなく躰も共に蘇へるかの如くに見へる惡鬼に取りつかれ苦んでゐるものをイエスが治し玉ひ其爲め其人が襟を正しうしてゐたと云ふ話かある斯樣なことは昔しから今迄變はりなく見られる處の現象であります新しき心を得れば新しき衣を得ると云ふのは古い格言てありまするが誠に左樣であります、橫濱の三吉町邊に救世軍の人々か行つて傳道して居ました、どうせ此邊にゐるものは穢ない生活をしてゐるものが多いのです、其近邊の定宿には多くのカンカンムシ（滊船の滊鑵を掃除する小供にして不潔なること甚たし）の内に其二人は悔い改めて救世軍へ這入いりました、其後或夜救世軍の人が問訪して見ますと多くの掃除小僧の内に二人程仕事着を脫ぎ奇麗な身なりをして居るものかあり升、能く近付いて見ますと是は其前夜悔い改めて救世軍に這入つた人間であつたてとか解つた大勢は仕事着のまゝごろ／＼して居るに此二人のみはさつぱりとしてゐた、又下谷邊に行かれた人は高帽子に赤い救世軍の章を付けて居る人に逢はれるてとと思ひます、此人は醫師で此人のカバンの中からは能く驗溫器と共に救の聲か出て來ることがあるのてす、鬨の聲と云ふのは救世軍の機關雜誌てす此人某病人に呼ばれて診察に參りました、然る所其病人は或不品行のことより其病氣を惹起したことか解りました其故此醫師樣は病人に向ひまして貴君が不品行な習慣と穢れたる心を取り除き魂を入れ代へなければ何樣藥を差上げても直ちに罪惡を犯し又は病氣に陥りますと云ひましたうこで色々と說敎をして因果を說いて聞かせて悔い改めて基督を信ぜしめ病氣の治療にか

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ゝつたさうて御座ります、

第三に肉体上靈性上弱き者を救うて之を利用し玉ひしことは基督の最も好んてなされし處てあります基督の弟子等も皆さうである、誠に人は信して用ふれは虎となり惡んて用ふれは鼠となる位のことと外出來ぬのであります例へはヨハネ傳四章にあるサマリヤの女の如きは然うであります此女は品行正しからす身持惡きものてあつたらしいがイエスは心から此女の信用を得て此を利用してサマリアに於て多くの信者を得られた又馬可傳十二章にエスか賽錢の箱に向つて座し人々の錢を箱の中に入るるを見給しに多く富める者は多く投げ入れました、一人の貧しき寡婦來てシブタ二枚を投け入れましたシブタ二枚とは只僅かに四厘位に值いするのみてあつたイエス其弟子等は喚びて彼等に、我誠に爾等に告げん箱に投げ入れし凡ての人々よりも此貧しき寡婦は多く投げ入れたりそは彼等は皆其餘れる所を以て入、この婦はその不足とところより其すべての所有すなはち全業を悉く入れたればなりと申されました、

又面白い話かあります、淺草の公園の近所に娘と二人て生活してゐる御婆樣がたります、救世軍の兵士て中々善く基督を信じてをります、朝早く起き公園に行き聖書を讀み祈禱をして歸る習ひを以てをりました、或朝例の如く祈禱をやつて居ると一人の若者か通り掛りました、其若者はぼんやりとして、御婆樣の顏を見てゐる、御婆樣は之を知らなかうたが暫くすると御婆樣に近づきましたか御婆樣は其と氣かつき扨て言はるる樣貴君は今頃何故さうしてをられるのてすか切り込まれて其若者（多分書生）は自分か善くない處に足を蹈み込んだ事を自白しまして若し昨夜貴女がかうしてれつて下さつたらば自分は斯な馬鹿な目に遭はなくとも善かつたのにと申しました御婆さんは左樣ですか然らば悔ひ改めるのに今でも遲い事とはありません悔ひ改

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

めて基督を信じなさいと云つて互に聖書を讀み互ひに地に跪いて祈禱を捧げ遂に若者をすゝめて神の道に入らしめたのであり升、これは私か本郷台町の基督教青年會に行つて話したことでありました、然るにろの舍生の一人が休みで歸省し國の教會で何か話す樣にと賴まれて此婆樣の話しをする、すると其處にゐつた一人の田舍婆樣が大に感心して東京で御婆樣か出來ることなら自分か田舍にゐつて出來ないことはないと思つて奮發し老人の事故歩いては傳道か出來ないから自分の家の窓の處に聖書を廣けて見る、其が非常に影響して其處の中學生なとを奮ひ起たしむる緣となつた、先程神田の青年會で關東部會と云ふのがあつた時に其話か出る台町の舍生か何時か皆打ち揃ふて市内に傳道のため出掛けて歸つてから君は今日何を話ししたかと聞くと僕は淺草の御婆樣の話をした僕もした僕もと云ふ工合て御婆樣の話は東京から田舍尠なからぬ善き影響を與へてゐるのです今頃新聞紙上などで隨分持てはやされて誰は斯く誰は斯くと賞められてゐる人かありまするか併し實際此御婆樣程に善き種を此世に播いたもかありませうか世間て重寶かられ賞められてをるものの内には實に其日其日をノラクラしてゐつて害を他の人に及ぼしてゐる人か隨分ゐるのであり升、隨分風上に置けないものかあると思ひます、直接の働としては勿論間接にも此御婆樣は善き多くの影響を與へてゐるのてあり升、今日の青年にしましても若し彼等か卑しき情慾のために費してゐる處の彼等の力强き力を轉して善き方に向けたならば其効果は見るべきものがあると存ずるのであります、エディスンでありましたか、何時か海岸に逍遙してをり升時に寄せては返す大なる波を見ました時に此絶大なる怒濤の力を他に利用することは出來ぬかと叫んだことかあります、基督は常に人間を善きも惡しきも善く用うる方を知つてゐられまし

た。

第四番目に弱者に身体を與へ給ひしことは弱者に取つて基督の福音の最も大なるものてあり升、或る書物に慈善とは人に施すことにあらずして自分の身を與へることだと書いてあります、基督が此世に御生れなされて此世の救主てあるので人々が大騒ぎをします、丁度基督の降誕を豫言した豫言者ヨハネてすら基督か餘り貧乏人病人の間に入り浸りて非常に大仕掛けな仕事をせぬを見て心窃かに危み惧れたのであります世の救主とも言はれるものは少し立派な派手なことをするものと思つてれりました、其て獄中より使二人を出して基督に問ふて、來る可者は汝なるか將叉他に待つ可きかと申しました、基督は我なせし事によりて知れと申されました、即ちイエスは世の足なへたる者病める者に杖と成力と成自分の身を捧けられた、斯んな馬鹿な話しか實際あつたかどうか知りませんか、ペテロがいつか主よ我を一日神になして下さいと賴んだ、只一日て宜しいからと賴んだ基督は答へて今晩だけろれては神にしてやらうとは言れた、ペテロが大に喜んでれりまするとイエスキリストは汝は神様なれば彼方へ行け自分は人間の子たから此處に行くとて他の弟子と共にペテロと別れてしまつたペテロは神にはなつたか扨て何をして善いかと惑ひ乍ら茫乎として歩いてれると牧場に偶然出て來た丁度夕方てありまして平常は仕事が休みになつても猥か何かに備へるために必ず一人の留守番人がれつて群羊を守つてれりまするか其日に限つて一人殘らず出て行かうとするペテロが怪しみ其故を問ふと今日は御祭り日てあるからあとは神任せと云ひ顧みすしてズン／＼他へ行くペテロは人のことではあるが羊のあとが心配にあつてシブ／＼其の夜其處に留守番をしてゐた嗚呼神樣の仕事とはあんなもんかトンダ處で貧乏くじを引いたもんだと思つてもシブ／＼や

つたと云ふ話がある併しされも基督が甚だ意あつてせられたとの樣に見えるのです畢竟神が我々をして御栄えを此世に現させらるゝ場合には我々をして人の犧牲とならしめ役立たしめたまうので有ます即ち我々が此世に生れて來たのは人を使ふとでなくて人に使はれることにあるのであります我には意識的に或は無意識的に人の犧牲となり人に使はれ馬鹿になつて働くと云ふことが肝要であります。基督は常に自分の身をいため心を碎き天なる父の御栄ゝを此世に行はんとせられた

最后に弱者の友として基督を考へまする時に思ひ浮びまするは基督は只已れの色々の行いにて、弱き者の友となられたるばかりではなく多くの人々をして自分の精神を享けついて弱き者を助けられたことであります。昔しから基督の名に依て立つて此世を救ふ働きをした人が澤山ある。我々は今の傳道の勢ひと昔しの其を比較しまする際に實に慚愧にたへぬ心持ちかするの

てあります。彼等は神の栄へを顕はすためには已れを貧くし常に弱きもの貧きもの丶味方になつてゐた、フランシスの如きジョン、ウエスレーの如き然うであります、其他枚擧するに暇はありません。ウエスレーは常に自分の室にある額を見て其目か其色彩に及ぶ毎に其色か一に世の弱きもの丶血より出來てゐることを想像して歎息したと云ふことです。故に彼は幼年の頃に自分の通學する途中遭ふ女乞食を見てはいつも自分の食物の大部分を裂いて與へたと云ふとであります。ブース大將は青年の時に東ロンドンの貧民窟に這入つて貧乏人の爲に働き今日の如くなつたのは皆人の知る所です。其に就て面白い話があります或時年若き二人の姉妹らしき女が東ロンドン貧民窟に這入つて傳敎をしゐる。一人の御老婆樣が來て昔はブースと云ふ大將が此地に來られて盛に傳道せられたものであるかえらくなつたら少しも此地に來れない樣になつた人の心は

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あてにならぬ信仰と云つても誠に甲斐なきものであると云つて歎息してゐる。二人の女は是を聞き彼は大層忙はしい故に來られないと云ふと來られなければ娘でも遣はしたら良からうと云ふ女は私共がブースの子女であると申しました斯く基督は自分の弟子をして其道を傳へしに其弟子をしめ世間多くの人々の上に道を傳へて世の人を救ふた宗敎は甚だ多方面なものでありまして一概に言ふことが出來ないけれども基督敎の最も特色とする處は罪深きもの、病めるもの、貧しきものに同情して、之を救ふことにあると思はれるのであります、

初めに申上げました、あとに立ち歸つて諸君に希望することがあります先刻も海老名先生から御話があつたとのでありまするが、我々にして若し基督を信ずる志か有ならば例へは如何ある障害かありましても、我々は最初自分か立てた信念に依て立ちたいと思ふのでありますイスラエル人かエジプトより救ひ出されて紅海を渡つてカナンの地に歸らんとしたけれども彼等は未だ其地につれて歸るに足るべき人格を具へてゐなかつた成程彼等はエジプトに居つた時の奴隷的情態は之を脱却することは出來たけれども過去の惡習慣などは彼等をして乳と蜜の流るゝカナンの地に入らしむることが出來なかつた又彼等の間だにも多少昔しの賤しい生活を顧みて欣ぶと云ふ風がありました、而しモーセ以後四十年ヨシユヤの時になりて(此間たしか四十年)漸く多年希望してゐた地に入ること出來ました、明治になりましてから最早年も四十年を重ねました此の間の歷史は決して譯のないものではない、何か深き一つの目的を持て進んでゐると思ひます、只願ふ所は早く過去の惡習慣罪惡から遁れて元の希望に歸つて深く進んで行くことであります、エスキリストの救ひは其目的を達する唯一の道であると信じます何卒弱者の友として

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のエスキリストを思ふて御忘れにならないことを希望致します。

東洋的意識が神的王國に對してなすべき貢獻

ホール博士

予は他の多くの人々とともに、予等を哺育せる西洋文明に對して、少からず不平を抱くもの丶一人なり。西洋文明は其の表面こそ如何にも華やかなれ其の實質は世人の考ふるが如く健全なるものにあらず。若し現今の如くにして進み行かば、そはたゞ世界に大なる弊害を釀すものたらんのみ。されば西洋文明の上より基督教に對して下せる解釋は、大なる欠点を有し、到底基督教の眞髓を充分に發揮することを得ざるのみならず今にして之を改むるにあらずんば、やがて何人も豫想するを得ざる災害を、吾等の上に與ふべきや必せり。個人の品格の上に、はた國民の品性の上に、清く美しきさま〴〵の徳性を付與し涵養し、さては發揮せしむべき基督教の眞髓は、未だ西洋文明によつて哺育せられたる西洋人によつては味はれざるなり、否、むしろ味ひがたきなり。簡單に云へば、西洋文明は物質的なり皮相的なり、組織的、地理的、形式的には廣く且つ美しけれども、惜むべし、そは我等の最も要求するものを與へ得ざるあり。靈的眞髓の光彩陸離たる發揮は、遂に其のうちに覓むべからざるなり。西洋文明の與ふる能はざるところのものを與へて吾等の大要求をみたすものは、實に東洋的意識を外にして求むべからず、冥想的、沈思的、忍耐的、精神的なる東洋的意識が、神の支配せる世界的王國に貢獻するは、實に此の点に存す不完全なる西洋文明を補うて、神的王國を世界に建設するの大業は、この東洋的意識を有する東洋人の任ならざる可らず、然るに現今の實情を見れば、此の悲む

べき東洋の特色は漸く埋沒し、不完全なる西洋の特色は益々發展し。此は遂に彼を壓倒し盡さんとするの傾向あり。悲むべき哉。東洋の覇王たる日本國民は、宜しく之を自覺し、自覺的行動を以つて、西洋文明と相提携し、大に神的王國の建設に盡すべきにあらずや。

宗教とは單なる理想を云ふにあらず、理想は如何に尊く美はしく、眞と善との圓滿なる姿を備はれたりとも、之を實現せしむる力にして欠くるあらば、何等の價値も存するとなし。宗教の本性は、この理想を實現せしむる力を謂ふなり。物質的方面に熱心となればなるだけ、靈的方面に不熱心となるは、自然の數なり。されば現代の西洋思想によれる解釋は、初代の基督教と全く其趣を異にし、この尊むべき宗教の本性を欠けり。初代の基督教は、東洋人若くは半東洋人によつて信奉せられ、傳道せられたり。この故に初代の基督教は内向的なり、東洋的なり。然るに現代の基督教は外向的なり、西洋的なり。現代の西洋人は、哲學的思想に基く佛教の汎神的説教を解すること能はず、且つ之を好まざるなり。西洋は科學的または歷史的方面に超越し、總ての問題の根本たるべき主題は、唯「世界」是なり彼等は自然界の物と力、もしくは此等のもの、歷史、發達、進歩、關係を説明するに巧なり、されど彼等は世界以上、世界を超越せる点まで、其の想を伸ぶるゝと能はず、かるが故に基督教に對する解釋もまた歷史的、科學的なる點に於いてのみ進歩しれれり、云ふまでもなく此等の進歩も必要なれども、想の内面に及ぶなく、超絶に到るなきを惜しむ、神は東洋に形式を與ふるよりも精神を與へて冥想的生活の民たらしめ西洋に精神を與ふるよりも形式を與へて外向的生活の民たらしめ給ひしにはあらざるか。上に述べたるが如き關係、特色を自覺したる東洋人は、武力または智力を以て西洋人と爭ふより遙に高尚遠大なる立場に起ち

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

復仇よりは救濟に即ち敵の不足を補ふてふ崇き態度もて、其の特色を西洋に及ぼすの度量なかるべからず。

右に掲げたるは去月十六日夜神田青年會館に於ける博士の演説の要旨なり

文藝

會見

マークトウエン作
西本翠陰譯

之は現今米國に於て第一の滑稽作者たるマークトウエンが訪問を受けた新聞記者を調戯かつた事を自分で書いたものである。

神經質の拔目のない機敏さうな、若い男は自分が勧めた椅子に着き「雷新聞」の記者であると云つて、

「突然御會見を願ひまして、御迷惑では御座いませんか」

「何か御用ですか」

「イヤ唯會見に上りましたので」

「アヽさうですか、そー、ウム、さうですか」

この朝は氣がくさ〳〵して大に弱つて居たけれど書箱から本を取り出でて先づ六七分も見たらうかと云ふ時に此若い男に押しかけられたのである。

「甚麼書きますかね。」

「ヘ、何の事ですか」

「會見といふ字を」

「之の書き方をお聞きになつてどうなさいます」

いや、書き方なんかどうでも可い、何う云ふ意味か夫か知り度いので

「これは驚きましたね、ナニ、それは御話しても可いのですが、若し貴下が……若しあなたが御……」

「アーどうぞ、御面倒でしようがね」

「會は何々會の會見は見ると云ふ字で……」

では何々會の會といふ字が始めへ來るんですな」

「さう、さうです」

「いや、どうも有り難う、これが長らく解りませんでね

「では、何ですか、何の字から始まるとそれもつて御出なすつた」

「はて、私……私は知らないんで大きい字引か何かとり貝か赤貝のやうなものかも知れんとそれもつて最終の繪の中を大騷しに探して居た處です而し大分古い版ですから」

いや、幾ら新い版でも繪の中にはありません。失禮ですが毫末も惡氣で云たのでないので、貴下は私が想つて居た程…………いやこれはどーぞ御氣にかけられないように」

いやそんな御謝辭はなくとも、誰れもよくそんなに云つてくれるので謝辭の嫌ゐな人は何時もさう云ひますよ、私のぼんやりしてるのは有名なものですか

られ左樣です、皆んながさー云ふのです。

「さうでしようとも、今では誰人でも少し評判になるとすぐあちらからもこちらからも會見を申込のです

「左樣ですか、これは始めて聞きます、それはさぞ面白い事でしよーな。それで甚麼したら可いのですか

「ゑーと、その、これは弱りましたな、而しまづ普通會見に來た人か問題を出して訪問せられた方が之れに答へると云ふ事になつて、今では一般の流行です貴下の御經歷中で主要な處を少々御伺してもよろしう御座いますか」

「ゑ、よろしいとも、而し私はどーも物覺が大變惡いので、尤もなあたの方では餘り構はあり升まゐから覺ゑが惡ゐと云つて實は變な覺ゑ方なので、何だか譯が分りませんので甚だ氣の毒ですがなあに、

それは一向構ひませんかられ分りになる處丈けを願ひます。」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「では一つやつて見ませう」
「有り難うよろしう御座いますか」
「はあよろしい」
「貴下はれ幾つになられます」
「さあ、何でも此六月で十九歳になります」
「御戯談でしようどうして卅五六になられる事に思ひました、御生國はどちらで御座います」
「エッソリーです」
何年頃かられ書き始めになりました、」
こーつと、左様千八百三十八年からです、」
「はてどう云ふものです、貴下がまだ十九にしかならないのでは、どーも算用が合ひませんね、」
「それは分りません、兎に角少し變なやうな氣もしますね、」
「實に妙ですな、では貴下か御會ひになつた内て誰方か一番有名の人に御思ひですか、」

「マーロン、バーです」
「貴下か今十九では彼の人とは逢はれない筈ですが」
それ程、私より汝の方が好く御存じなら何も私に御聞きなさらなくともいゝでしよー、」
イヤ、これは一寸御注意までゞ、ではどーして彼の方どれ逢ひになりました、左様、何時の事でしたか、私はあの男の葬式へ行つたのです、處か彼奴私に向いてそー騒いでくれては困るとかう云ふのです、
「而し、貴下が葬式へれ出になつたのなら彼の方は死んでゐたのでしやう、死んで居ましたのなら幾ら貴方か騒がれやうが關まないぢやありませんか」
私やそんな事まては知らない、而しあの男はね何時もあんな奇体な男でしたよ。」
でも些少も譯が分りませんね、貴下に語しかけたと云ふ其人が死んでゐたと云はれるのですからな」
「私や死んだとは云やあしない」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「ね……死んでつたのではないんですかい」
「さてな、誰れか死んだと云つたやうでしたがさあ誰れやらがまだ死なゝかつたと云つて居ましたつけ貴下は甚麼御思ひになります
「そんな事は私の構つた事てはない、何も私の葬式と云ふのてもないんたからどうも何だかさつ張り分りませんね、では他の事を伺ひますか、貴下は何日にお生れになりましたのてすか、
「さ、土曜日で、千六百九十三年の十月三十一日てすへね、そんな事はありますまい、おやあ、二百からになりませう、どうもつぢつまが會はないお話のやうてす、
はう、それが御氣付きになりましたの、いやも一長らくの間と云ふもの、私にも間違つてれるやうには思はれたのてすがどふもさうと決める事か出來なかつたので實は弱つてゐたのてすどうも汝は大層勘の

好いお方てすなどうも感心しました」
どう致しまして、之れは恐れ入ります、貴下は御兄弟がありますか、それともお持ちになりましたか、
「ねーと、私……私……私には何んてもそんな事があつた樣に思はれますが、左樣さ、而しよくは覺えません」
「これは大分怪訝な御話してすな、
「何がてすか」
「慥かさうだらうと思ひますか、あれ、あの壁の上へ懸つてる肖像は誰方のてす、汝の御兄弟のてしようおー、さう、です、今やつと思ひ出しました、あれは私の兄弟でした、あれがウイリアムて私達はビルビルと呼んでつたのてす、どうもあれは可哀さうな事をしました
どうなさつたのです、ではもう強くなられましたか何でもそんな事てした私共はそれをお話し出來ない

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のてゐれに就ては實に不可思議な事かありましてな
夫れはどうもれ氣の毒でしたな、それては見ねなく
「あられたのてすか、
『はあ「さうてす、何も無のです、私共は彼を埋め升た
れ埋めになつたとれつしやる、死んだのか生きてる
のか知らすですか
いゝや、さうじやない慥かに死んでゐました、
「どうしても、解りかねますな貴下が埋めて、貴下が
死んだのを知つてれ出て……
いや、いや私共はさうだろーと思つた許りてす」
「ては分りました又生返られたのてしやう」
ゐやろうてはなかつたてしやふ
こんな奇妙な話は始めてゞすな誰れか死んてゐれを
誰れかが埋めた、何も不思議とれつしやる程の事は
ないてはありませんか、」
あゝさうだ慥か斯様んな事てす私共は雙兒て生れて

まだ二週許りしか經たない時桶の中て間違へられた
のて其中の一人は溺死したのてす、而し之れが何ら
か分らないのてビルだと云ふ人も在ば私だと云ふ人
も有升　「ハアー、それはどうも奇異なれ話し
てすな、ては貴下はどうれ考になります
それは私はどうにかして知り度いと念つてゐるので
すけれとどうしても分らないのてす斯様あ嫌やな妙
あ事がありましたので私は終始譯いて許りゐるのて
す、而しこれはまだ誰れにも話した事がないのて只
汝にだけ極內密てすからこゝだけの話しに願います
が二人の中の一人は左の手の甲に大きいあざが有ま
したそれが私てす土左衛門になつたと云つたのは其
兒てしたよ、
左様てしたか毫末も不思議は御座いませぬ様てすね
「ふむ、ないとれつしやる……私には大變不思議
なので、家內の者等が何て間違つた小兒を埋めるや

ろゝつかしい事をしたもの一どうも解しかねるので
すな、ま、ま、靜かにどうか内の者一れる處て話ない
て殿下いてなくても内の者等はひつきりなしに心配
許り澤山あるんてすから」

今日はもうこれて澤山材料を戴きましたから……れ忙しゐ處を大層御邪魔を致しまして有り難う御座いましたあのアロンバーの葬式の話しは大層面白うで座いました、貴下が彼の人を楽いとれ考へになつたのはどう云ふ譯てす」

何あに極つまらなゐ事なので、あれは誰れも勘付かゐかつたらしい、丁度れ經が濟んだ處て行列が出掛ける準備も出來て、死骸はちやんと棺の中へ收つた折、ハー先生自分の葬式の樣子が見たいと云つて、棺の中からすつくと立上つて馭者と一緒に驅け出してしまつた、

若い男はあつけにとられてそて／＼に出て行つた、しばらく鬱晴しのよい相手であつたのに出て行くのを見送りながら自分は殘り多いやうに思つた。

藻の花

孤雁

岸に立ち込めてゐる綠葉の影が水に寫つて、蒼く澄てゐる池の面に、日の光が葉陰に洩れて斜めにさすと紫の浮藻の花が、其小さな花片の上に日影をあびて、美しい小女の眼なざしのように、少しふるへるやうにして咲いてゐる、眞晝頃の、四邊は至つて靜かに、青葉の薫が微風のまに／＼にほのめくばかりふつふつと岩間に湧ゐて池に流れ込む水の音と、ジイ／＼と鳴く松蟬の聲の外には何も聞えない。里を隔てた此山奥の池、此處は自分が幼い頃の遊び仲間であつた若者が、郞少女とゝもに身を沈めた所なのだ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

我一人岸の所へきて草を籍き、舊の事など思つてジッと水の面を見つめてゐると、白い泡が湧き出ては蓮の花のあたりに消ゑ、又た絶ゑず後から湧き上つてくる。眞に果敢ないやうな思が胸に泌みて頭も自ら下るやうだ。池の向ふの方を見ると、青葉の日の光にきらめく櫟林の中に一條の細徑が目には入る。あの小みちを木下つたひに二人は辿つて來たらうか。日の光の美しい夜であつたと聞いたが、青白い光が池の面に落ちて、森影の黑くしんとしてゐる其際に、此岸の上へ立つた二人の心は如何樣であつたらう。其若者は幼い頃から賢い方であつたので自分なども折々いぢめられた事もあつたけれど今どなつて見ると、思ひ出す事が皆氣の毒だと思ふ種となつて來る、かばん掛けて、田の畷路を馳せながら學校へ行つた小さな姿も、草刈籠を肩にして、元氣の好い聲て歌を唄ひながら、朝霧の中を林の方へ、毎朝まぐさ刈りに行つた後影も目に見ゑるやうだ、それが此寂しい山奥の水に沈んで仕舞たとはどうも思はれないやうな氣もするのだ、

一つたい自分等の村は、諏訪へ越す嶺の麓に有ので昔から廓が設けられて在る、春などになると、其廓を遶る柳の林が、萬條の碧を靡かせて、桃櫻などが其間に點在して、眞に長閑な眺めては在るが、其のなかにどんな憂愁がこもつて居かと思つて見ると、何となく愛しい果敢ない思をさそうのである、其頃になると廓の女の身の上に、よく悲しい話の起る事を聞こともあつた其の廓の中に若い美い少女が一人ゐたと云話してあつた、それが如何なる運命であるか、此若者と離がたない緣の糸につながれて、遂には此山奥の水に來て空しくなるやうになつたのだ。

微風が靜かに池の面に波をきざむどうの漣波は汀の蘆の下葉にさゝやき岸の上からはさまざまの夏花が

影を醮して、それが又水に散り込むと、波は音なくかなたこなたに漂はせ自づと花のうねりを作つてゐる村の少女や草刈の手向の花たと云つて山百合や桔梗の花束なとを投入れるので其等も皆蘆の葉うらに漂ゐつてゐる。

此二人の死をば嘲つたり罵つたりする人達は、いづれも、此二人のやうな深い戀を知らないのであろう戀は清いの汚れてゐるのと論らふ人々も、一度此池のほとりに來て、此靜な寂しい樣を眺め、二人の話を聞いた時には眞に哀れな悲しい思が胸に充つるてあらふ。戀の女神は犧牲にとて身をばさゝげよと常に命じてゐる、二人の戀は身を捨てゝ初めて全さを得たのてあつた、

木々の落葉が水に沈み、蘆の下葉が折伏して、水の面に氷張りつめる冬となつても、二人の樂しい夢は長くさめず、此所にこもつてゐるてあらうあの花の

漂つてゐる浪の上に、今にも二人の影が浮び出るやうだあゝ御身は、幼ない折の友てあつた身分が此所へ來て、御身の事を思つてゐると知らないてあらうか。

こんな夫婦

百島冷泉

病氣は未だ全快でなかつたが、房州の滿一年間の養生で、貯蓄もあらかた使用ひはたし、何うする事も出來くなつたから、僕は東京へ不本意ながら又もとつて來た。その時僕の腦裡は、何な職業に付けるだらう何な下宿に這入れるだらうとこの二問題で占領されて居た。……職業もない身分で、下宿屋もないもんだぜ、僕自身でも思はれではながつたか、何うしたものか、僕の樣に氣の弱い者は、この隱家を見出さ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ない中は、まるで犬猫同様に感じられ、世の中は厭な處、悲惨な處、一層のこと死でしまひたい様な氣にもなる。……　然し東京に着いて見ると、親友の一人は僕の爲めに、可なり良い會社の口と、それならばと思はれる下宿を探して置いて呉れたので、ほつと呼吸を吐いた。

下宿といふのは、市ヶ谷監獄に勤める看守の家で、下宿人は僕一人だとの話、場所は市ヶ谷谷町の監獄の裏門の、あのだら〳〵坂を登つて直ぐ右方の閑靜な家であつた。忘れもしない昨年の十月十二日、朗かな天氣で、氣も伸りしながら、僕は親友と一緒に、仲の町の知人に預けてある荷物を運び、宿に到着くと、看守の家内の、そう四十四五にも見ゆる陰氣な女が、兩人を奥へ案内した。僕の借りる室は、此家の座敷で、床間付の六疊、家はふるいけれどなか〳〵綺麗で、椽は南向きの、日當の可い、庭も可なり廣く、庭樹もあるし下宿としてはまあ申分のない室であつた。折しも日中であつたから太陽は椽端を一面に照して何とも云へぬ氣持であつた。

僕は親友に、

「如何も御あつらゐ向の室だね。」

と禮を言ふと、親友は得意顔で。

「さうさ僕のれ見立だもの」

と自慢した。その時奥に去つてゐた家内は、茶を運むで來て、

「まあれ茶を一つ」

氣輕な親友は、

「や、それは有難ふ」

と言つて、頻りと何か家内と談話だした、僕は默つて傍から談話を聞いてゐると、云ひしらぬ滿足の情が湧いて來るのであつた。

親友は突然に。

「貴女の旦那様は戰爭へ行つて在したんですか」

とたづねた、

「え」

と返事した家內の顏には曇りがかゝつたが、然し直ぐ淋しい笑顏になつて。

「何して貴方に、それがお判明りなさいまして」

と不審を打つた、その言葉が如何にも態とらしく、如何にも周章てゐた。

「でも、その掛軸に書いてあるのではありませんか」

「あ、それで」

と言つて、家內は今更らしく、凱旋を祝する詩の書かれてある、床間の掛軸を眺めたが、この時の家內の顏と言つたらない、まるで「死の蔭」を見て、悶く人の樣であつた。

然し人間は奈何して斯あんだらう、自分に關係のない事なら、他人には如何な重大問題にしろ、頭の毛一本落ちた程にも感じないのだ。今家內の顏を見て僕は一時戰慄としたが、漂浪者の身には此上ない、暖い室や、風致のある庭や、親切さうな素振を見せられたから人の上を考へる餘地もなし、たゞ適當な家を得たと一圖に思ひ、隊商の綠地を發見した時の歡喜をつくづく感じたのである、

その午后奈何してか、遽に空が曇り、夜になると雨が降りだした。夜雨は確に人の靈魂を覺醒するものだ僕はまた整頓しきれないので。洋燈の下に机に倚つて種々な事を考へてゐた。その時忽然に此家の主人が、僕の處へ挨拶に來た。

僕は主人の顏を一眼見て驚嘆かずにはゐられなかつた。靈魂が覺醒してる時は、總てが驚嘆である、これがあの陰鬱な、やせた、衰へた、血の缺なさうな、四十四五にも見ゆる家內の亭主であらうか、まだ三十恰好の、顏の眞圓い、肥滿した、盛んな、血の多さふな

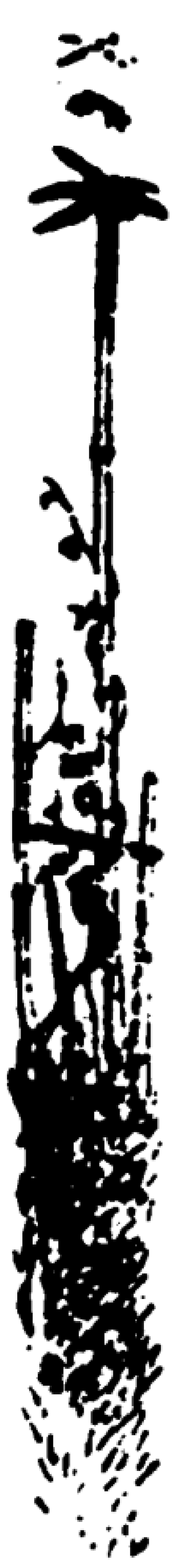
男であつた。
主人は如何にも落付かぬ容貌で、
「何もおかまいは出來ませんけれど宜しく」
と一語言つて、直ぐ引込むで了つた。
それから一週間ばかり經過つて、朝早く誰が玄關の戸を叩く者があるので、僕は家の者を起さうかとも思つた。然し家の者の寢てるのは奥ではあるし、僕は起きて寢衣のまゝ玄關に往つて
「誰……」
と聲を懸けた。すると雨戸の外から、
「家内はまだ起きて居ませんか」
と言ふのは主人の聲である。其處へ兩人の話聲に眼を覺したものか、奥から家内が出て來て、
「鈴木さん、有難ふ御座いました。私開けますから、何卒お休み下さい」と云つた。
僕は何氣なしに室へ歸つてまたね床にもぐり込むだ聽いてゐると奥で夫婦何か押問答を始めてゐる。
「お前は今日に限つて、わざ／＼戸締をして、亭主にはぢをかゝせたのだな」
「そんな事はありません、無用心ですから戸締をしたのです」
「何……何か無用心だ…… 盜賊が這入つたつて可いではないか」
「貴方そんな事を本氣で云ふのですか」
「本氣も本氣も大本氣だ…… 盜賊が這入つて家財を悉皆盜むで行つて了ふが可い……亭主に可い恥をかゝせやがつて」
「亭主が亭主らしくなければ仕方がない」
その後はよく聞えなかつたけれど、僕はこの押問答をきかされて、厭な氣持になつた。妻は來た日から何か一物あると思はぬではなかつたが、さては此家でも矢張夫婦間の軋轢があるのだな、いやになつて了ふ、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人間は元來社交的に出來て居る、一人では居られないものだ、人と人とは互に相愛しあひ、相助けあひ、相許容しあふ樣に出來て居る、まして一旦夫婦になつたものは然なくてはならぬ、之れをかく夫婦間に軋轢のあるのは、何かそこに、深い仔細がなくてはならぬと僕は思ふた。

（未完）

人は如何なる
種類の種子を
播くべきかを
自ら撰定する
自由を有す。
人生に於ても
亦然り



雜纂

世界の女子教育

ヲウス孃

女子教育に最も熱心な國は英米の兩國で、米國では大學に在る女子のみでも六萬はあります。英國は米國ほどには行きませぬが、男子と同じ程度に於いて、六千人の大學生があります。併し英國の女子は南歐へ遊學する傾が盛んで、此等をも算入したら尙は多いことでしやう。何れも修めるところが漸々專門的分科的になるやうです。

女子教育に反對の國でも今は大に盛況に向ひました。獨逸などでも千五百の大學生があります。その五大學に於いては、すべてに於いて男子同等の特權を與へられて居ます。女子教育に對する反對が、獨逸で弱くな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つた端緒は、數年前「エヂンバラ」大學に出席した十二人の獨逸女學生が、千數百の外國女學生と會談した結果、翻然として悟るところがあつて國へ歸るや盛に女子教育の必要を絶叫したに始まります、此の大會に於ける女子は、決して獨逸が恐れて居るやうな缺點の一をも有して居なかつたのでした。

其の他の國でも矢張り盛になりまして、三年前私が露國へ參りました時、一千五百の女學生は、男學生と共に同じ程度の高等教育を受けて居ました、三年後の今日は更に進んだことでしやう、露國に於いて此だけの教育を受けるには、學生も教授も非常な犠牲を拂つてれるのであります。之は政府に依頼することが出來ないのです、猶は露國の女子は、多く獨逸や瑞西へ遊學して居ます。

女子が極めて保守的な消極的な國でも追々盛にあつて來るやうであります、即ち教育なき女子百人に對し教育ある女子一人の割合なる印度でも、高等教育を受けて居る者が數百人あります、此等は重に醫師が教師になりますが、普通民とは非常に知識の差がありますから、まるで神の如く尊ばれて居ます。

女子教育の進歩は、今や社會狀態を一變して、家族制度に進歩を與へるやうに考へられます、米國に於いても靴磨き、仕立物、兒童監督などの勞働をして苦學して居る女子大學生が少くないまでに熱心で最早や遺傳的になつた樣に思はれます、從つて女子のなすところは時に男子を凌ぐ事がある程です、教師としての適任性は、最も明に男子を凌ぐことを證明して居ます。

英國では十年前「ケンブリッヂ」大學を卒業した女子を工場の監督に試用しましたが、男子の目の屆かぬ點まで注目し、頗る好成積を示しましたので、今や盛に教育ある女子を採用する傾になりました、また中等の視學官も女子に適任なることを發見せられましたし

貧民法に就いての監督も女子に限ること、なりました

婦人が病氣に罹つても男の醫師を呼ぶことを、社會上宗教上禁じてある印度、埃及または波斯などでは、女子の醫師を最も必要とします、かくて社會の悲慘は女醫の手によつて、如何ばかり救はれることか想像にだも及びません。

新らしい教育を受けた女學生が、舊い思想の人と一家に於いて、一般社會に於いて、衝突るすることがあるかも知れんと云ふ恐れもありますが、婦人は調和性に富んで居る上に、宗教の感化を受け易い點から、却つて立派な柔和な品性を作ることは英米に於ひて確認さるゝ處ですが、歐洲のある國では女學生に宗教の未信者又は半信者もあり、徒らに新をとり舊を捨てる人もあり、又た恐ろしく極端に走る人もあるために、社會から種々なる恐を抱かれるのであります。

此には露國の女學生を最も甚しいものを考へます。露國政府は男子の革命熱よりも、女子の革命熱を恐れ女子の會を恐るゝことは實に甚だしいものです、少くとも千五百の女學生の半數は、秘密結社に属するのであります。

更に道德上の危險の最も甚だしく感ぜらる、のは瑞西であります。此の地へは歐洲各國から多數の學生が集りますが、皆故郷、朋友、社會を離れ全く何等の制裁も無い自由の境涯におかれる結果、恐るべき道德上の問題を惹起すのであります。其のうちでも露國の女學生が最も甚だしく、瑞西人も彼等を家庭のうちにに同棲させることを好まず、從つて彼等は下宿または旅館の一室に住み、其の一室で自炊もし、寢起きもし、勉强もし、また一室のうちに數人同接もする、それや此やで甚だしい道德上の危險を生ずるのであります、宗教の意味を教育または文明のうちから除き去ると、斯の如き危險は忽ちに起ることゝ信じます、私は最も

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

切痛に之を感ずるのであります、
此等の危險を防ぐに就いて、各國の方針は完全な寄宿舍の制度が最も必要と云ふことに歸着して居ます、自治制をとることゝ宗教團体を作ることの二つが其の要件で、煩雜な規則ぜめにするよりも、高尚な品格ぜめにすることを、舍監のとるべき方針とせねばなりません、政府と學校と家庭とが一致して光彩ある社會を作ることが最も大切なことゝ存じます。日曜日だけは精神修養に充つる如き習慣は、幼兒より家庭に於いて養はねばなりません、學校は完全な寄宿舍を作り、政府は之に對して充分な保護を加へねばなりません。

こは萬國女子靑年會幹事「ラウス」孃が去月八日帝國教育會に於いてせられたる演說の要旨なり。

小說 聖者 の梗概

最初の考へでは、原書の順序に從つて、各章毎に紹介する積りで、既に前號で第貳章の終りまで敍いて置たが、紙數の都合上到底そんな事ではあと一回や二回では全体を紹介し盡すことは思ひも寄らんからはじめから筆を改めて大体紹介することとする此の邊幾重にも讀者諸君の寬恕を願ふのである

當時伊太利の思想界を風靡して、識高く眼明かに進步的舊教徒の戰士として、年若かく信仰あつき人々の讚美と崇拜とを一身にあつめ、一方羅馬法皇よりは異端邪說を傳ふるものとして、其の著書の或者は禁書のうちに數へられたる、老博士「ヂヲワンニセルワ」なるものがあつた年齡は既う六十あまり鬢髮雪の如く清軀鶴の如くであつたが、夫人は「マリヤ」と云つて三十歲には足らぬ若い美しい貞淑な婦人で、生れは「べ

ルギー」の人で妹の「ノヘミ」と共、世にたよりなき孤兒であつたが、博士の意見に感服し、互に手紙を取りかわすうち、終に相愛の中となり、やがて結婚の式をあげ、夫の勸めによつて舊敎に改宗したが、妹の「ノエミ」は祖先の宗旨を重んずる心から、依然として新敎の信者として一人の乳母と共に冬は伊太利に夏は「ブラッセル」に靜かな生活を送つて居た、すると「ノエミ」の乳母が病氣で死んだ爲め、誰か博士の方から「ノエミ」の手助けに行かねばならんこととなつたが、生にく博士の大病で誰も往く事が出來なかつたので、博士夫婦とも「ノエミ」とも、親しい仲であつた「ジャン」が……此時は既う夫と死別れて自由の身となつて居たので、樂しかりし「ピヘル」との戀を日毎夜毎思ひつゞけ、如何にかして彼を尋ね出し、我身の既に自由であることを告げたいと思つて居た……兄の「カーリノ」と共に「ノエミ」を助けに行き、一切の後かたづけを濟して、「ブルゼス」の市へ歸つて來て「愛の湖」の湖畔に夏を過さうとして居ると、「マリヤ」夫人の許から「ノエミ」の許へ一通の手紙が來て、博士はある遇然の機會から「サンタ」スコラスチカ、の修道院に居る「ドム、タレメント」と云ふ若い修道僧とちかづきになつたが、其の年配から云つても容貌の端麗な點から云つても、ピエニ其の人の後身てはあるまひがと疑れるので、博士はかたく其と信じてれるが、夫人は半信半疑てあると云ふので、此の話しを聞いた「ジャン」は一刻も猶豫することが出來ず、さまざまに行末を氣遣つて引き止めやうとする「ノエミ」の言葉も聞かず、兄をすすめて博士の居る「スピヤコ」へ向けて出發した。

雜報

一ラウス孃は東都に於て帝國敎育會、津田女子英學塾東京府立女子師範學校、女子大學其他。地方にては京都第一高等女學校、同志社女學校等にて演說せられたり。

一スペンサー孃は橫濱市に於て高等女學校。山手フェリス女學校等又大地及神戸地方にて講演せられたり

一ラウス及スペンサー孃等は當地に於て新戸部博士夫妻及女子英學塾へーッホン敎師は高橋是淸氏宅に於て同夫人及其他等よりの懇切なる晩餐若くは茶話會に應招し何れも席上にて有益なる談話を會衆に與へられたり

一本月大會のためには東京中央委員等はラウス氏と共に幾多の會合をなし精神的、物質的に準備せり其結果の如何は此大會に列席せし諸姉の既に知悉し給ふ所あらん

一女子靑年會は東京市內に女子學生の爲五個の家庭的寄宿者を建設せんとて目下適當なる土地を探定中也

一今年開催の女子靑年會夏期學校につき詳細の問合は土手三番町女子靑年會河井花子宛にてせらるべし

一都下及地方に於て女子學生諸氏のために我女子靑年會が盡し得べき目下の急務あらば遠慮なく東京土手三番町本部に宛て通知あるべし

▲地方會の狀況

●大坂ウヰルミナ女學校靑年會、

役員

會長　吉田潔
副會長　深井だい
書記　中川たま
會計　坂野まさ

會員數

正會員　七十名　　準會員　六十八名

名譽會員　十五名

▲函館基督教女子青年會

本會は昨年三月一日の創立にして爾來漸次隆盛の域に達し、目下會員七十名ありて、逐日增加しつゝあり本會諸般の設備は創立以來、日淺くして諸般のこと整頓せざるもの多く爲めに公共の事業に着手するに至らずと雖も目下夫々計畫中なり。

現今に於ける本會の事業は、毎月第二火曜日午後三時半より、内外知名の士を聘して宗教上女子に肝要なる講演を開き常に平均三十名より四十名の聽講者ありて漸次盛大に趣きつゝあり、尙は此の他に毎週火曜日午後より「ミスプラオンロー」擔任にて會員有志の爲め英語教授會を開き毎回十五名位の出席者ありて各熱心に勉勵しつゝあり

聖書研究會は毎木曜日午後四時より「ミスプラオンロー」の擔任にて、集會し研究の方法は講究すべき聖書項目を「プログラム」に編成し是に據りて集會する者各自の輪講質疑應答等をなしれれり而して、此の會の組織は隔週毎に英語及邦語各別に開催し、集會者は英語聖書研究會には十五名の平均、邦語聖書研究會には平均貳十名位の集會なり、以上。

三月三日　函館基督教女子青年會

基督教女子青年會本部御中

▲東京小石川指ヶ谷町女子傳道學校内

女子青年會

役員

會長　岩田歌

書記　鈴木よし

會計　加瀨くに

會員數　三十四名

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

YOUNG WOMEN
OF
JAPAN

Miss M.A.Whitman, Chairman.

Dr. Kei Okami, Vice-Chairman.

Miss A.G.Lewis, Secretary.

Miss Sarah Ellis, Treasurer.

Miss Michi Kawai. Active Member of the World's Committee.

Miss Michi Matsuda. Editor of "Young Women of Japan".

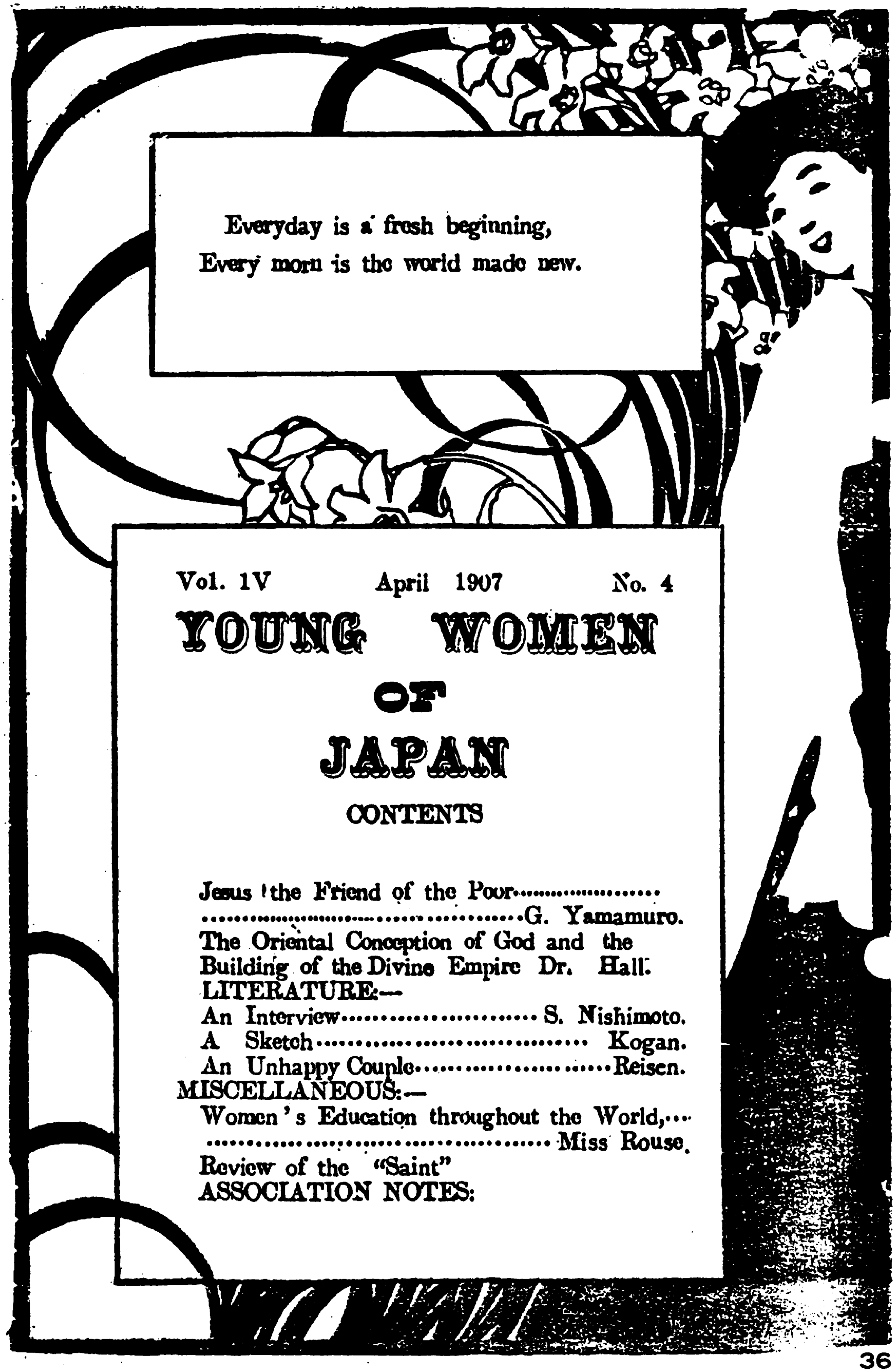
Non-resident Members.	Resident members.
Miss K. Tristram. Osaka,	Miss Ume Tsuda.
Miss L. Hamilton. Osaka,	Mrs. Hatsu Watanabe.
Mrs. V.W.Helm. Kobe,	Miss A.B.West.
Mrs G. S. Phelps, Kiyoto.	Dr. Tomo Inouye.
Miss E. M. Soper, Nagoya.	Mrs. G.M.Fisher.
Miss N. B. Gaines, Hiroshima.	Miss Hama Hirano.
Miss L.Zurfluh. Sendai.	Miss Sumi Miyagawa.
Miss M. Brownlow, Hakodate.	

Miss A. Caroline. Macdonald,
General Secretary.

Miss Stella Fisher,
Assistant Secretary

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治三十七年五月七日第三種郵便物認可　明治四十年四月十三日印刷



Everyday is a fresh beginning,
Every morn is the world made new.

Vol. IV　April 1907　No. 4

YOUNG WOMEN OF JAPAN

CONTENTS

Jesus the Friend of the Poor........................
....G. Yamamuro.
The Oriental Conception of God and the Building of the Divine Empire Dr. Hall.
LITERATURE:—
An Interview.......................... S. Nishimoto.
A Sketch.................................. Kogan.
An Unhappy Couple.......................Reisen.
MISCELLANEOUS:—
Women's Education throughout the World,...
....Miss Rouse.
Review of the "Saint"
ASSOCIATION NOTES:

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA